

グローバル・アクション通信 2020 Vo.5

グローバル改革推進部



早いもので11月、秋が深まってきました。コロナウイルス感染拡大の影響はまだ大きく残るものの、様々な対策を取りながら、少しずつこれまでの日常が戻りつつあります。八高生、やっちゅう生が活躍できるイベントやコンテストも増えてきたように思います。さて、今回は「ペシャワール会 藤田千代子さんに聞く」や「国際ボランティアワークキャンプ」について紹介します。

ペシャワール会 藤田千代子さんに聞く（主催：本校JRC部）

～中村 哲 医師の人生から学ぶ真の国際支援とは～

アフガニスタンの人道支援に尽くし、昨年12月、凶弾に倒れた中村哲医師と長年活動を共にされた、藤田千代子さんを講師にお招きします。国際的な理解を深めたい人、医学系を目指す人など、是非参加してください。国際支援について一緒に考えましょう。

日時：令和2年11月27日（金）期末考査最終日 13:30～15:00

対象：本校生（中・高）

会場：本校技術棟2階学習室

締切：11月19日（木）（参加申込書や詳細は裏面）

第15回国際ボランティアワークキャンプ

（主催：国際ボランティアワークキャンプ実行委員会事務局）

21世紀の教育におけるキーワードを「国際」と「ボランティア」と位置づけ、高校生が主体となって自ら企画・運営するワークキャンプです。

【内容】1日目 基調講演「連帯～つながり、つなぐ」

講師：興梠 寛さん（昭和女子大学教授・日本ボランティア学習協会理事長）

全体交流会等

2日目 分科会（食品廃棄・多文化共生・予防医療・差別と偏見）・全体活動報告

開催日：令和2年12月19日（土）、20日（日）

開催場所：熊本城ホール（シビックホール）他

募集人数：76名（高校生・留学生） 参加費：1,000円

校内締切：11月13日（金）参加希望の生徒は、化学準備室 岩下まで



オンライン講演会・各種コンテスト等 ※興味がある人は、職員室 山村まで

数学・数理科学5研究拠点合同市民講演会「みえるものとみえないもの」

（主催：情報・システム研究機構統計数理研究所、九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 他）

■世の中は、知的好奇心を呼び起こす様々な謎に包まれています。目にはみえるけれども、どうしてそうなるのか、どうしてそうできるのか理解できない現象や技術、逆に目にはみえないけれども、仕組みを理解してなんとか頭でみえるようになるもの、あるいは目にもみえず、理解もできず、どう対応していったらよいかわからない問題など。我々もコロナ禍の中、みえるもの、みえないものに取り囲まれて日々を送っています。本市民講演会では、そうした秘密に数学・数理科学の観点から5つの話題に迫ります。開催日時 令和2年11月14日（土）13:30～17:00 Zoomによるオンライン開催

詳細は職員室掲示板ポスターをご覧ください。